

2年生は、11月6日（火）～8日（木）の3日間、社会体験学習を実施しました。自分の将来の職業をはっきりさせることや今後の生活に生かしていくために、たいへん良い学習になったようです。なお、活動の様子の写真はホームページを御覧ください。

体験を通して、働くことについて考えたこと

- ・働くことはたいへんだと思いました。特に、あまり言葉がわからない子どもを相手にするのは、身にしみてそう感じました。大人とは違い、自由な子どもと接するとすぐに色々なところで何か起こります。子どもを相手とする保育士さんは、すごいと思いました。（大倉保育所 遥菜さん）
- ・子どもの年齢ごとに手伝うことが減っていくことにとっても驚きました。先生方はこういうことも気をつけながら働いているのはすごいと思いました。また、子どもを集めるのは難しいことだとわかりました。保育士になるには、話し上手になることが必要で、子どもが好きだけではなれないことを実感しました。（香取保育所 花林さん）
- ・店員の皆さんが楽しそうに仕事をしているのを見て、僕も将来は楽しんで仕事ができたら良いなと思いました。どんなたいへんなことでも前向きに取り組んでいけるようにしたいです。（セイミヤ 一陽くん）
- ・巫女さんの仕事は思っていた以上にたいへんでした。パンフレット入れなどの仕事がたくさんありました。お賽銭集めに毎日何箇所もまわるのもたいへんです。巫女さんがやっている裏方のような仕事は、たくさんの人の支えになっていることがわかりました。（香取神宮 采花さん）
- ・働く前はガソリンスタンドはそこまではたいへんではないと思っていたけど、実際にやってみたらたいへんだったので、働いている人のありがたさを感じました。また、ガソリンスタンドの仕組みが知れてよかったし、もっとガソリンスタンドのことを知りたいです。（長島石油 優斗くん）
- ・私は将来、国際的な仕事をしたいと思っています。そこで機会があれば、日本の伝統的な神宮や神社のことについて、外国の方にもっと知ってもらえるようにしたいです。今回の学習を生かし、お守り、お札のことや神様のことを外国の方に話して日本に興味を持ってもらいたいです。（香取神宮 天音さん）
- ・私は話すことが大切だと感じました。道の駅はお客さんとの距離も近く、農家の方とも話すことが多いです。たくさんの人と会話をしないと相手のことがわからないと思います。ですので、これからいろんな人とコミュニケーションをとっていきたいです。（水の郷 茉琳さん）
- ・働くことはとてもたいへんなことだと感じました。今まで学校生活をしていると「仕事をしている人は良いな。勉強もないし、楽そう。」と思っていました。しかし実際に体験をしてみたらたった3日間だけどくたくたになってしまいとても疲れました。これからはお金を稼いでくれている親に感謝して過ごしていきたいと思いました。（ほていや 大和くん）
- ・仕事はたいへんなことばかりだと思っていましたが、今回の体験を通してやっていて楽しいことや嬉しいこともあることがわかりました。私はまだ将来何になるか悩んでいます、今回の体験をいかして決めたいです。（県立病院 綾乃さん）

